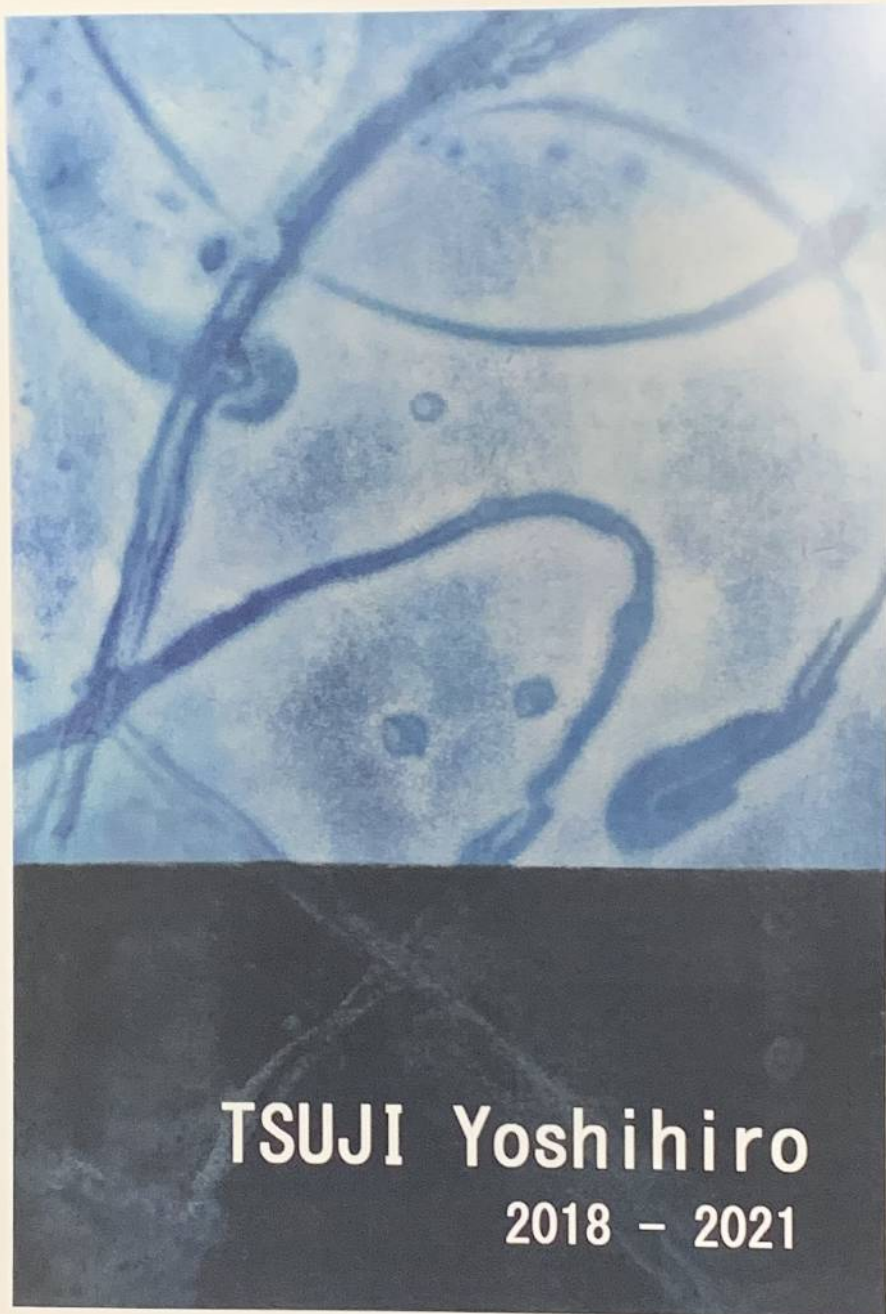




2021 3月26日(金)～31日(水)

自選展 辻 義弘の世界

コロナが終息しない中、
大阪堺市 ギャラリー「いろはに」で個展が開催されました。連日来廊者が途切れること
はありませんでした。作品集 100 部はほぼなくなりました。





ギャラリー近くの「開口神社」通称は「大寺さん」だそうです。神社なのに寺という不思議な名前ですね。お参りをしてからギャラリーに向かうことになります。



ギャラリーに咲く「姫りんご」の木です。満開でした。

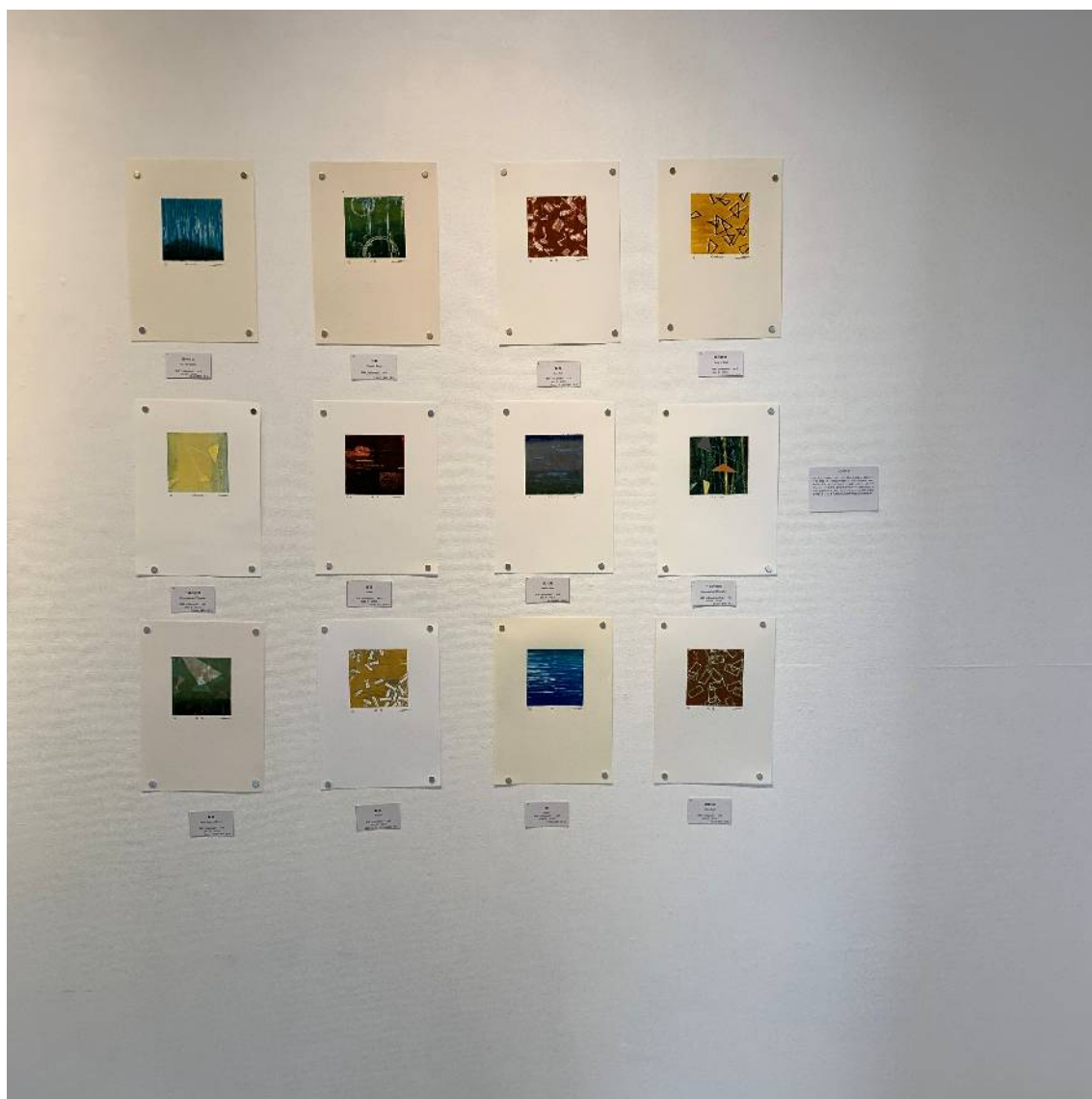


ギャラリー南から入った作品です。

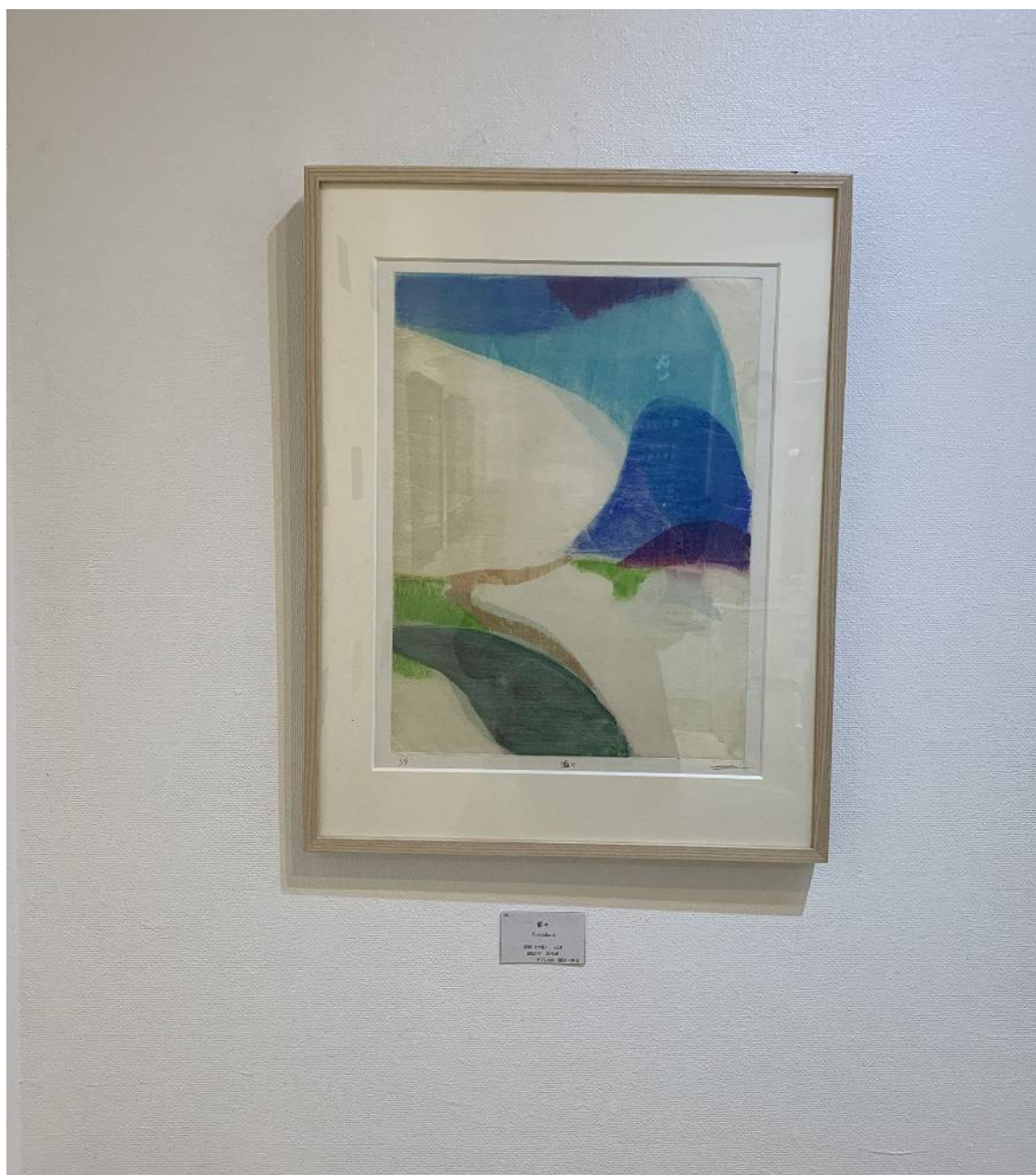
一室は版画を中心に二室は旧作品の油彩を展示しました。

左から、コラグラフ作品、木版拓刷作品になります。

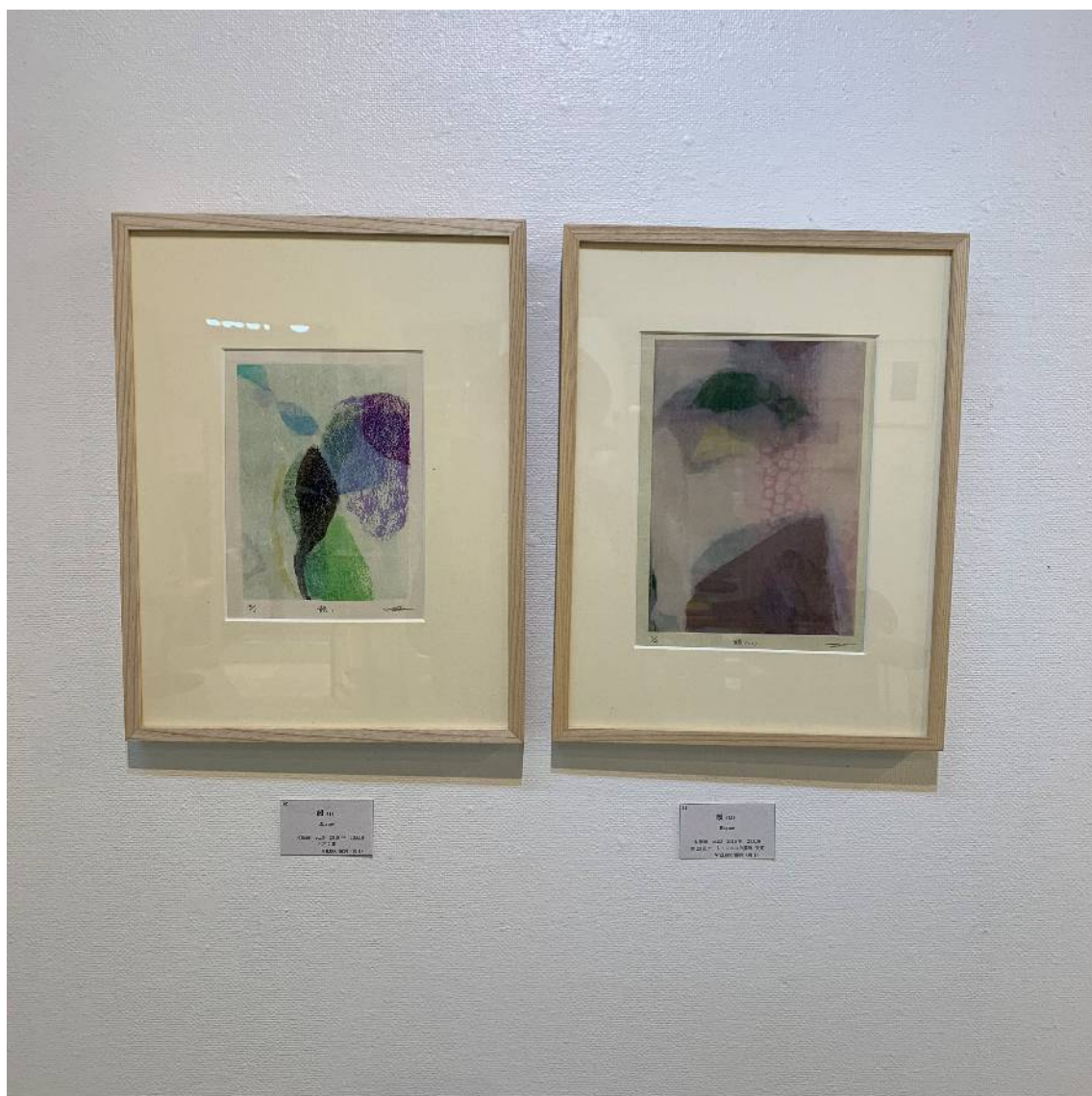
右 2 点をフランスに出品中ですがコロナで延期になっています。5 月予定の展示は今年 12 月になりそうです。



展覧会が決まり、それに向けて制作したコラグラフ作品になります。
展示方法はこれでよかったでしょうか・・・ちょっと気になりました。



木版画です



木版画になります。左はアキラで刷りました。



お気に入りの作品です。



上に抜ける空間がいいねとっていただきました。
木版になります。



「色がいいね」っていただけます。



木版です。写真より実物はもっと紫？ピンク？が強いです。もっときれいな色なのですがすべての写真にいえることですが、写真うつりが悪くて残念です

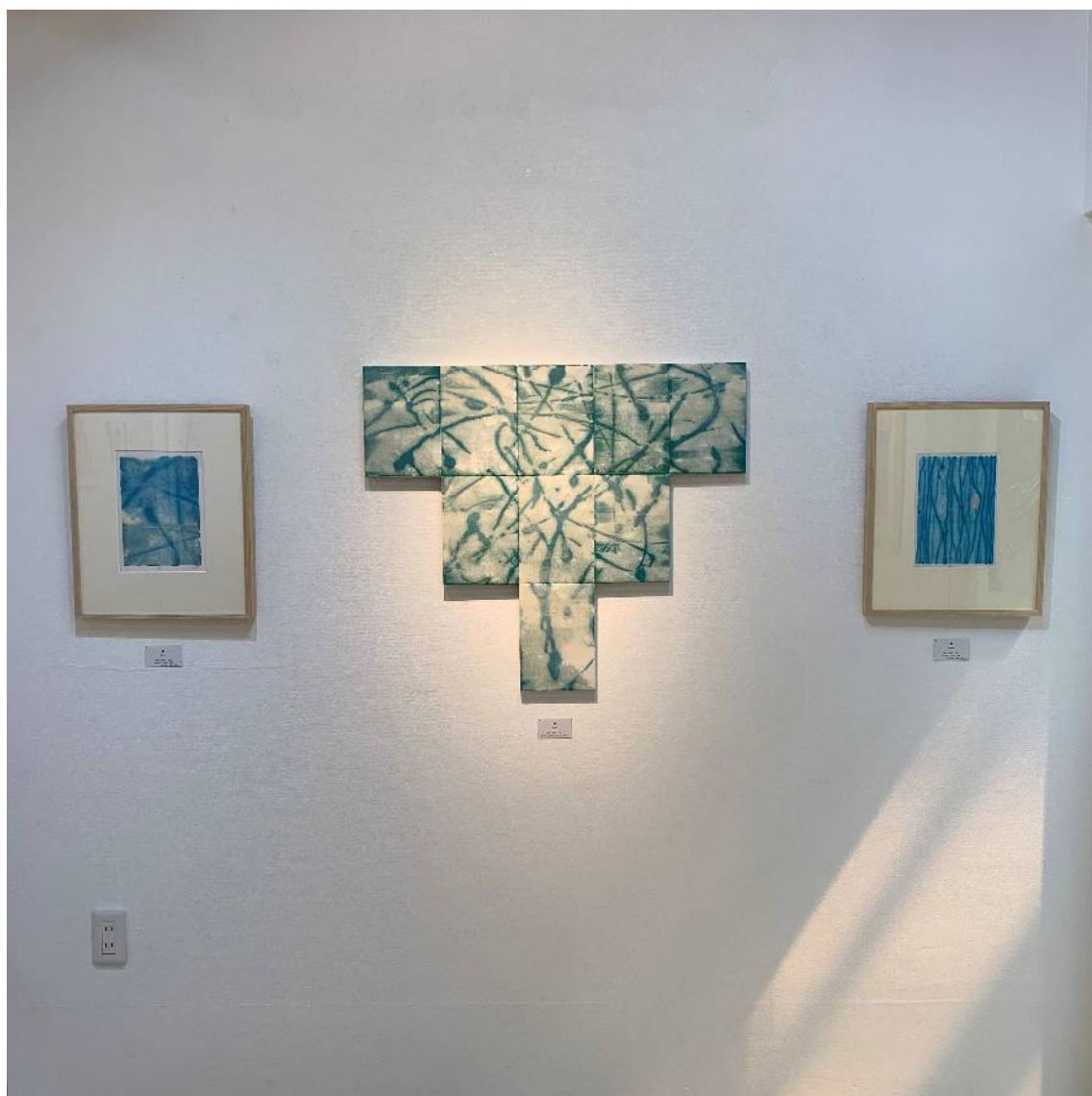


六花亭に置きました詩画集の作品の抜粋 2 点になります。

雨で生まれ、川に流れ、溜まったり、凍ったり、森の香りや音を聞きながら最後は星となる水の一生を詩にまとめた作品です。一点しかない詩画集は手元を離れましたが私にとっては大事な作品たちです。



DMに使った作品です。



拓刷りの作品です。私にだけしかない作品作りができればうれしいです。



S N S で評判が良かった作品です。他の作品と比較すると、少し薄めの和紙に刷りました。



UAEに出品した作品になります。ポリマー版画で、かっこよく言うとフォトグラビュールというらしい。











Grid of 9 paintings



White Horse

1925



Small white label with text below the giraffe painting.



Small white label with text below the zebra painting.





世界は我が家 (しほうま)
David Hockney (1942)
油彩、キャンバス、1971年、100cm×100cm





暫くあっていない方々とお会いできたことはこの個展の最大の成果だったかもしれません。
ご来廊いただきました多くの方々に心よりお礼申し上げます。

この機会をいただいたギャラリー「いろはに」のオーナー北野様、また、翻訳、画集の作成、
展覧会の準備に尽力いただいた友人に感謝とお礼を申し上げます。